

お宝資料アーカイブ

運動本部では過去58年分の資料を整理中！長年の歴史の中から、貴重な資料の一部を紹介します。



「こんな怪獣いたらいいな」

昭和45（1970）年より、運動本部発行の小学生新聞に連載していた「親切怪獣」（作者：横山隆一）。人間に親切をする心優しい怪獣たちが子どもたちに大人気で、平成11（1999）年には、小学生から「親切怪獣」のアイデアを募集しました。

「こんな怪獣がいたらいいな」とワクワク感が伝わってくるような、いきいきとした応募作品ばかり。子どもたちの豊かな想像力が脱帽です！



十和田支部ではワクチン接種会場で立ててほしいと、市役所へ寄贈。（左から、遠藤信夫副代表、芋田一志副代表、柴田康秀代表、小山田久市長、川上権三郎元代表、赤崎健一事務局長）

■「心のバリアフリー」を目指して

親切運動では、身体の不自由な方や高齢者など、誰もが積極的に社会参加できることを願い、「地域の輪・和・環プロジェクト」として、車椅子寄贈活



青森県本部（事務局：青森銀行）では、オリジナルの“ピプス”を着けて親切運動をPR。

動に取り組んでいます。車椅子は、全国の公共施設などで活用されているほか、学校で子どもたちの福祉教育にも役立てられています。

青森県より届いた贈呈の様子をご紹介します。

■寄附者ご芳名

（2021年8月～9月末）

群馬県 片亀歳晴



(上) 元気なあいらずで1日をスタート (下) 学校オリジナルのアイコン



■よりよい世界を目指して！

専修大学玉名高等学校（熊本県）は、50年以上に亘って親切運動を受け継いでいる伝統校。「小さな親切」委員が毎日、地域の清掃活動に励んでいるほか、生徒会とあいらず委員が共同でいさつ運動「スマイルプロジェクト」を行い、学校や住民に元気と笑顔を届けています。これらの活動は、「SDGs」の「住み続けられるまちづくり」に関連する活動として、昨年度よりさらに力を入れています。

日々の親切運動の積み重ねが、よりよい世界の実現につながると信じ、活動を続ける生徒の皆さんが頼もしいです。今後も、学校をあげた親切運動、「SDGs」の取り組みに期待しています。

※SDGs（エス・ディー・ジーズ）…2015年の国連サミットで採択された、

2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すための国際的な17の共通目標。

■「近所さん」への支え合い・交流の一助に

静岡県の個人会員・平田厚さんが代表をつとめる「静岡福祉文化を考える会」では、年々希薄化する地域の人間関係に危機感を覚え、地域の若者と協力し「若者発 近所福祉かるた」を制作。「小さな親切」「さりげない声かけ」「見守り」などをキーワードにしたかるたによって、近所さんへの思いやり、声かけの大切さに気づいてもらい、世代を超えて一緒に楽しんでもらうことで、コミュニケーションを深める一助にもしてもらいたいと考えています。



地域のイベントで「かるた」を実践！



さらに「利用の手引き」では、かるた誕生の背景や地域で支え合うことの重要性を伝えています。

コロナ禍により、人との距離がさらに離れてしまうことのないよう、これからも温かく住みやすい街づくりを目指します。

■町ぐるみの活動を続けて40年

熊本県鹿北支部（代表：津留崎勝）は活動スタートから40周年を迎え、記念誌が完成しました。同支部は昭和60（1985）年、鹿北町議会で「小さな親切」実践の町宣言」を決議するなど、町ぐるみで運動を推進。作文コンクールや「小さな親切」実行章の贈呈活動を通じ、住民の思いやりの心を育てているほか、コスモスの「植栽・写真コンテスト」を開催し、美しい町づくりに力を注いでいます。

記念誌には、学校での親切運動の様子や子どもたちの作文、コスモスコンテストの入賞作品が掲載され、長年に亘り連綿と培われた温かな地域の様子が伝わる一冊となりました。



「写真コンテスト」の最優秀作品が表紙を飾る

読者PRESENT

老舗バッグメーカー「ヤマト屋」の人気エコバッグを5名様にプレゼント！

東京・蔵前にある「ヤマト屋」(代表取締役社長：正田誠)は「人はひとのため共に生きてこそ人なり」の経営理念のもと、30年以上に亘り地域の清掃活動を続け、従業員の思いやりの心や地元愛を培ってきたとして、昨年「小さな親切」実行章を受章しました(活動と贈呈の様子は、本誌2020年・春号に掲載)。

シックな色合いで、大容量のオリジナルバッグをお買い物の供にしたいかがでしょうか。コンパクトに折りたためるスナップ付き。ご応募お待ちしております。

（申し込み方法）

①氏名 ②住所 ③年齢 ④本誌の感想をご記入の上、「読者プレゼント係」まで、FAXまたは応募フォームよりお申込みください。2021年12月3日(金)必着。当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

●FAX：03-3263-3838



「未来をつくる青少年の心づくり応援寄附金」申込書

FAX：03-3263-3838

年 月 日

氏名 (ふりがな)	年齢	歳
団体・法人名	担当者名	
住所 〒		
連絡先 TEL	FAX	
E-mail		
会員の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 印をつけてください) <input type="checkbox"/> 会員 (会員番号：) <input type="checkbox"/> 非会員		

【寄附金振込先】

みずほ銀行 九段支店 口座番号：普通預金口座 1298186
（チャ）チイサ ナシンセツ ウンドウホンキョウ キングチ
 口座名義：公益社団法人「小さな親切」運動本部寄附金

1 寄附金額 円
 振込予定日： 年 月 日頃
 寄附金受領書 (をつけてください) 必要 不要

2 寄附金の使い道 (どちらかに をつけてください)
 青少年の心の育成、環境美化活動などの実践活動全般
 その他「小さな親切」運動全般

3 お礼の品の希望 (どちらかに をつけてください)
 希望する 希望しない

4 寄附附者の情報 (氏名・都道府県名) の本誌への掲載について (どちらかに をつけてください)
 掲載して差支えない 掲載を希望しない

5 寄附をするきっかけ (ご自由にお書きください)

スマホやPCからも寄附金の申し込みができます。

個人用

法人用

ヤマト屋